



9月5日（土曜日）～6日（日曜日）の2日間、三笠市の「ファミリーランドみかさ遊園」で開催された「MIKASA AMUSEMENT PARK OUTDOOR WORLD 2025」に、北海道森林管理局も出展しました。

皆さんは、アウトドア用品が防災用品として優れていることをご存じですか？寝袋やヘッドライト、ポータブル発電機など、災害時に活躍するアイテムがたくさん！このイベントは「アウトドアと防災」をテーマに、アウトドア用品の販売や各種体験プログラム、おいしいグルメ、野外ライブなどが楽しめる内容で、多くの来場者で賑わいました。

私たち北海道森林管理局は、森と防災のつながりをはじめ、森林の多面的機能や日々の業務について楽しく学べる体験コーナーと展示を用意しました。

【体験①ウッドボウリング】



三笠市産の、木材を使ったボウリングゲームです。地元の子もたちが伐採した木を材料に、投げるピン用に5種、的のピン用に8種の樹種を用意しました。



参加者は、投げるピンを触ったり嗅いだりして、お気に入りの樹種を選びます。重みのある「イタヤカエデ」が人気で、その日の最高得点を目指して何度も挑戦する方もいました。

ウッドボウリングの参加賞として、自分が選んだ樹種の擬人化キャラカードをプレゼント！職員が手作りしたカードには、樹種の特徴がちりばめられており、全種類を集めようと頑張る方もいて、嬉しい反応がたくさんありました。



【体験②山火事消火ゲーム】



近年注目される山火事について、実際の消火活動を疑似体験できるゲームを用意しました。森林管理署の職員は、20kg近いジェットシューター（水タンク）を背負って山に入り、消火活動を行います。

今回は、火のイラストが描かれた的を制限時間内に倒すゲームで、ゲームを始める前には、山火事の原因についての解説も行い、ゲームにストーリー性を持たせました。



重たいタンクに驚く大人の参加者も多く、小さなお子さんは保護者とペアで挑戦。初めての試みでしたが、子どもから大人まで楽しんでいただけました。



【運営スタッフの声】



今回は、地元のイベントを盛り上げるため、空知森林管理署から署長と若手職員が運営に参加しました。

若手職員の小田島さんは、「想像以上に多くの方が来場されて驚きました。地域イベントに参加する楽しさと、職場の仕事を伝えられるやりがいを感じました。本当に楽しかったです！」と語ってくれました。



【最後にひとこと】

森林は私たちの暮らしと深く関わっています。今回のイベントを通じて、森の働きや森林管理局の仕事について多くの方に知っていただくことができました。

今後も、来場者の皆さまにご協力いただいたアンケートを活かしながら、森の魅力を伝える活動を続けてまいります。

